



最近、料理に目覚めた長男。「キッチンが使いやすいようにしてくれたら」と応援する奥さま



Kさんの会社近くに住るため、家族そろっての夕食が可能に、今から家族が働く日をまいているイクメンパパは家族の人気者



左/唯一の個室でもあるトイレは、落ち着きのある空間に仕上がっている。右/トイレの横は洗面所とお風呂。ゆったりサイズが嬉しい



西洋漆喰と
無垢の木の家づくり
やすらぎのモデル住宅公開中！
古民家スタジオ「風のくら」

美しい自然が息づく広大な敷地に建つ「ハウランド社」のモデル住宅「風のくら」。ここは、和洋のデザインセンスを調和させた広い土間を持つ「現代版の古民家」。古民家風の家をお考えの方、必見です。

お話しに出てきた
展示場はこちら



これから少しずつ子どもたちの空間になる2階。いろんな夢を語りながら成長する姿がKさん夫妻の喜びだ



リビングですべてが完結する家だから家族の会話が増む。まさに、Kさんが思い描いていた理想の間取りが完成



純和風の家から180度異なる雰囲気の洋風の外観。信頼して任せられた家に期待以上の満足を感じているKさん一家



2階の屋根裏も収納に活用。ベッドが置けそうなほど広いスペースは、お兄ちゃんの「秘密基地」でもある



寝室の和室の向こうには、広々としたウォークインクローゼット。奥さまのお揃い入りの家具もすっきり収まっている

ウチに帰れば安心できる
家族を優しく包む家づくり

イクメンパパのKさんの理想は、帰ってくれば安心できる、家族が仲良く暮らせる家。一階へと続く階段も、勉強机もリビングにあり、いつもお互いを意識できる距離にある。「思っていた通り、みんながリビングに集まる家になりました」とKさん。その隣で奥さまも嬉しそうにうなずいた。満足しているのは、間取りだけではなく、骨組みが立派だから「弁護士さんが住む家じゃないか」と近所でウワサになったという見えない部分への安心感。漆喰の壁やアンティークウォークの床など、自然の温もりを感じられる空間も心地よい。子どもたちは大きくなったら出て行きますから、最終的に夫婦ふたりの生活を設定して、狭いのは構わないので材質はしっかり確保してもらいました。100年経っても安心して住める家ですとKさんは話す。また、職人技を間近に見ることができたのも子どもたちにとってもいい経験になったという。「木材から見る見るうちにウッドデッキが完成して驚きました！」。

幸せの象徴クローバーが
家族の未来を優しく見守る

奥さまが羨望に選んだのは、もともと好きだった四つ葉のクローバー。幸せの象徴でもあるクローバーがアクセントに配された家は、家族4人の穏やかな時間を優しく見守っている。今は、勉強するの、寛ぐの、寝るの、家族の生活のほとんどが1階。来春からは、中学生になるお兄ちゃんがいよいよ2階へ上がる。中学生から自分の部屋を持つことに決めていますと話しながら、ちょっぴり寂しそうなお兄さんの心中は複雑だ。そのお兄ちゃん、最近はおっぱい料理にはまっています。毎晩のように夕食をつくっている。「夕方になると何時に帰るか連絡が入るので急いで帰宅しますよ」と嬉しそうなお兄さん。住まいも、そこに暮らす人もポカポカと温かい。

COMPANY DATA
株式会社 ハウスランド社
福岡県春日市天神山2-83
TEL 092-555-5530
HP www.h-land.jp
詳しい情報は165ページに掲載